



「こんにちは 市長です」

4月1日号

広報おおた特別版『こんにちは 市長です』を発刊すると前号にあった。3千部、無くなったらおしまいとの添え書き。今号が出る時に残っているのか、心配である。

群馬県で勝って全国大会に出場という子どもたちが報告に来る。スポーツには「壮行金」が出る。吹奏楽は東日本大会によく出場しているけど壮行金を渡した記憶は無い。かなり不思議。上毛新聞の記者さんが待ち構えてインタビュー、写真を撮って新聞に載せてくれる。「でっかくね」とお願いするけど…。せっかく来てくれたのだから選手一人一人としゃべるようにしている。「なんか要望などありませんか」とか。

この間、九合小新聞委員会の6年生が来た。学校新聞で文部科学大臣賞をもらったという報告（がんばった！）。砂ぼこりの校庭で卒業式、体育館が無かったからねとか昔話を女子と話す。男子はおとなしい。「トイレはどう？」こちらから聞く。トイレには必ず反応がある。男子「いまいちです」。早く改修を終わらせたいと思っはいるけど進みは遅い。学校のトイレを意識的に改修し始めたのは西中から。「ホテル並みにできないか」がテーマだった。財政が追いつかないということでレベルを落としている？現在、小学校で56.6%、中学校では42.5%が改修できた。

一昨年度は宝泉中ほか4校に2億500万円。昨年度は藪塚本町小ほか1校に6千1百万円。今年度は綿打小に1億円の予定。トイレとはいえかなりの費用がかかります。（3/18記）